PHILIPS

HealthTech

Company Information

Delivering Innovation that matters to you

会社案内

フィリップスは
2025年までに年間

30億人

の人々の生活を向上
させることを目標としています。

ヘルステクノロジーで
医療を変えるイノベーションを日本へ

フィリップスの事業は、白熱電球の製造から始まりました。それから120年以上にわたり、医療用X線管やラジオ、カセットテープレコーダー、CDなどの発明に代表されるような意義のあるイノベーションを通じて人々の暮らしを向上させてまいりました。

日本では、1953年に日本電子開発株式会社としてフィリップス製品の日本市場への輸入を開始して以来、60年以上にわたってビジネスを展開しております。

現在、日本では、超高齢社会、少子化による人口減少に伴う医療従事者の減少、都市部への人口集中による地方との医療格差など、さまざまな課題に直面しています。

フィリップスは、この変化する環境に対応するため、従来の製品中心のビジネスからソリューションビジネスへと移行し、ヘルステック企業として生まれ変わりました。「人と情報をつなぐ」ことで、病院や医療施設が抱える課題の解決だけでなく、質の高い医療の提供により、患者様の負担軽減を目指します。さらに、人々の健康に対する意識を高め、一人ひとりに合わせたヘルスケアを実現し、健康で満ち足りた生活を提供したいと考えております。

フィリップスが考える、健康な生活、予防、診断、治療、ホームケアという「一連のヘルスケアプロセス」において、革新的な医療ソリューションを提供し、医療従事者の皆様、患者様だけでなく、すべての人々の健康な生活に貢献してまいります。

フィリップス・ジャパン CEO
ロイヤル フィリップス シニアバイスプレジデント
堤 浩幸

Innovation is our legacy

進化への灯火は照明革命から

1891 - 1915

フィリップスは炭素フィラメント電球の製造で事業をスタートし、すぐに欧州最大級のメーカーとして地位を確立しました。設立当初から輸出に力を入れ、当時のロシア皇帝より宮殿の照明を依頼されるなど、ロシアから大型の受注を獲得しました。1912年には株式を公開しオランダのアムステルダム証券取引所に上場しました。

X線へ、無線へ、技術革新と多様化

1915 - 1925

創立25周年の1916年には王室から表彰され、2年後の1918年には医療用X線管を発表しました。これを皮切りに製品の多様化を進め、X線照射から無線受信の領域まで幅広く特許を取得し、技術保護の取り組みにも着手しました。この10年間に、欧州のみならず、中国、オーストラリア、ブラジルなどにも販売組織を設立しました。

ラジオ、テレビ、電気シェーバー

1925 - 1940

1927年、ラジオの製造を開始し、以降5年間で100万セットを売り上げ、ラジオ·ラジオ用真空管の世界最大級のメーカーになりました。1年後、真空管の生産は1億個を達成し、1933年には米国で医療用X線撮影装置の製造を開始しました。1925年から開発を進めていたテレビを1938年に発表し、さらに翌年には回転式電気シェーバー「Philishave」を販売しました。

新時代を拓くブレークスルー

1940 - 1970

1940年代から1950年代は、科学技術がめざましい発展を遂げた時代でした。フィリップスはさらなる技術革新に挑み、研究機関であるフィリップスリサーチではトランジスタや集積回路の分野に研究基盤を置きました。また、1963年には画期的なコンパクトオーディオカセットを発表し、テープ録音の世界標準規格をつくりました。

画像、音声、情報で、続々とイノベーション

1970 - 1980

1970年代には画期的な新製品やアイデアが続々と登場しました。世界的にエネルギー管理が最優先の課題となったこの時代、フィリップスリサーチは新しい省エネ電球で成果を挙げました。さらに画像、音声、情報処理や保存、送信技術においてもめざましいイノベーションを重ねました。1972年にはエンターテイメントの領域にも進出し、レコード会社「ポリグラム」を設立しました。

技術のランドマークは一枚のCDにも

1980 - 1990

1982年から1983年にかけて、ソニーと共同開発したコンパクトディスク（CD）を発表しました。この事業が成功を収めた理由は、クリアな音はもちろん、両社が他メーカーにCDに関する特許ライセンスを供与したことにあります。その後間もなく、CDは新しい世界標準規格として設定されました。また、1984年には、フィリップスのテレビ生産台数が1億台に達しました。

大いなる変化、そして新たな成功

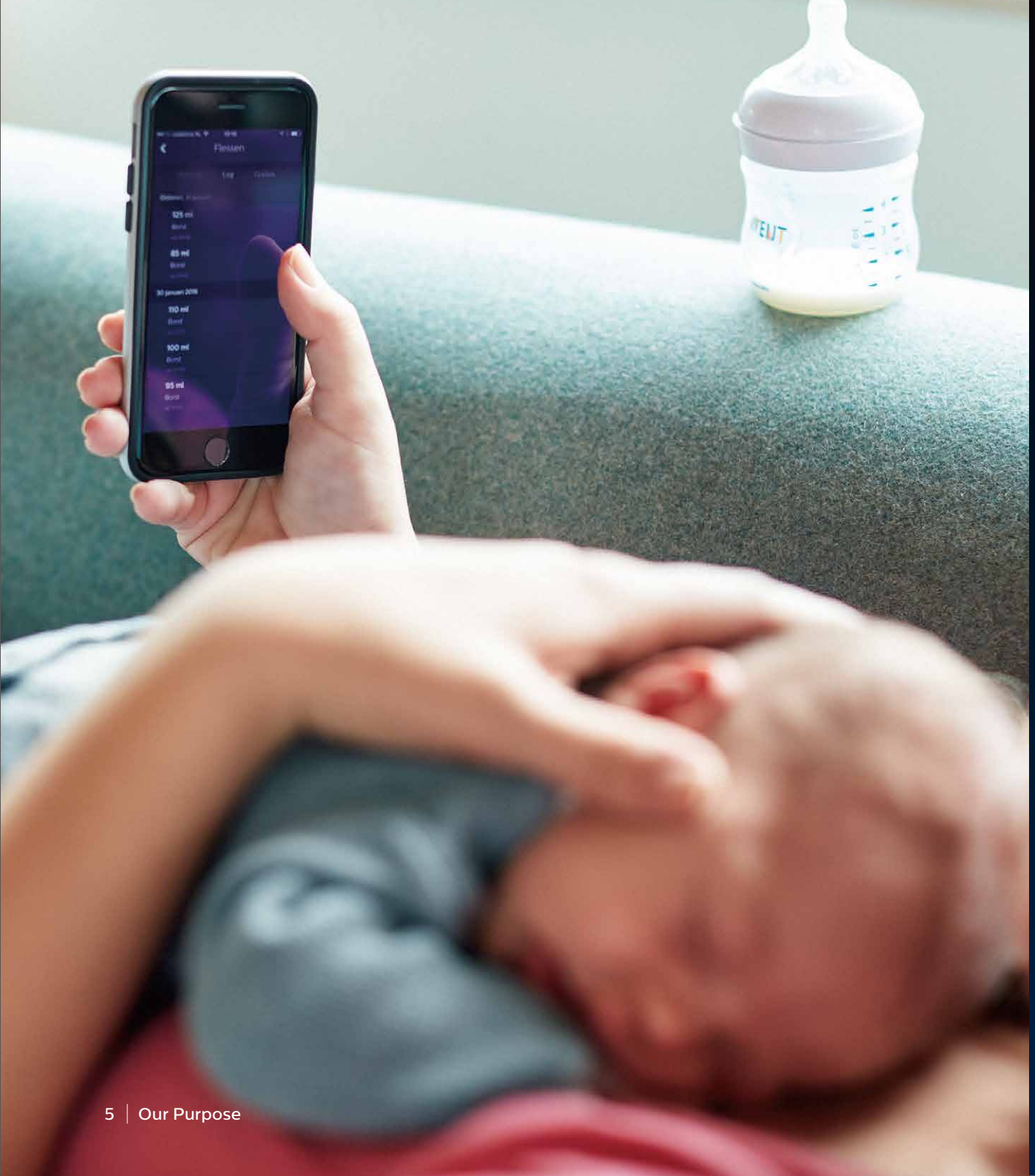
1990 - 2000

1990年代、フィリップスは大きな変化を遂げ、組織の簡素化や事業分野の削減を実施しました。ヘルスケア分野では、医療従事者にはより使いやすく、患者様にはやさしいデザインを採用しました。1997年にはDVDフォーラムのメンバーとしてDVD規格の制定に寄与しました。このイノベーションは、史上最も成長力の高い製品の一つとなりました。

終わりなきイノベーションへの挑戦

HealthTech for our future

2002年に発表した「Ambient Experience」は構造とデザイン、動的な照明、音響の融合により院内ワークフローや患者ケアを改善する革新的なソリューションです。2017年には血管撮影装置「Azurion」を発表しました。フィリップスはこれからも、人に寄り添うイノベーションを追求し続け、医療スタッフのワークフローの効率化、医療の質の向上に貢献します。



つなぐ
つなぐ
つなぐ
Philips

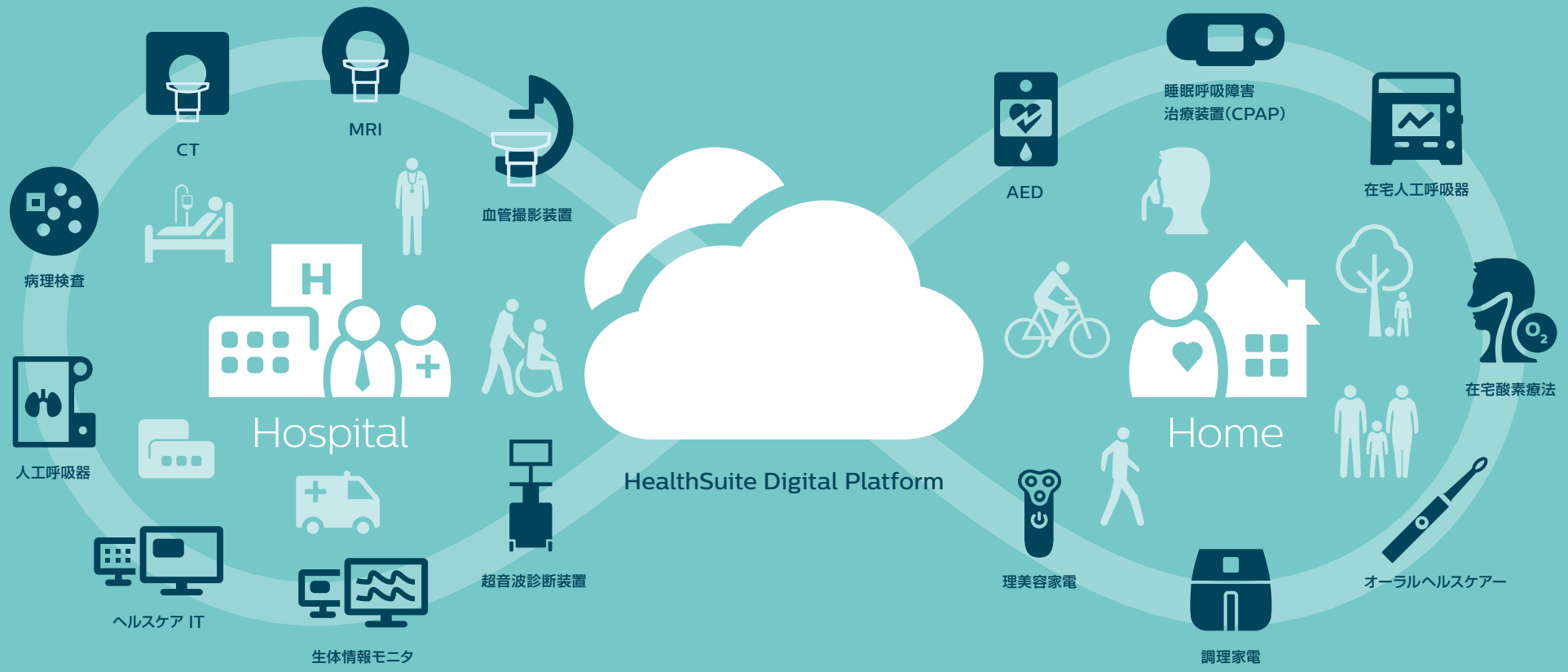
私たちをとりまく健康と医療の環境は、
いま、さまざまな課題に直面しています。

フィリップスは、長い歴史の中で培ってきた
その技術と知見を融合したヘルステックにより、
あらゆる「人」や「情報」を“つなぐ”ことで、
めまぐるしく変化するヘルスケアを
リードしつづけます。

人々の健康も幸せも、“つなぐ”ことの先にある。
あなたとともに未来を歩む、フィリップスです。

The future of innovation is collaboration: Philips HealthSuite Digital Platform

医療従事者と患者様が、病院や自宅、いつでもどこでも常につながる、ヘルスケアの新時代が到来しています。
フィリップスは、医療に携わるすべての人々とのコラボレーションによりソリューションを提供します。
クラウドでつながることで、患者様に寄り添う医療を提供し、患者様ご自身や健康に意識の高い人々の健康管理を容易にします。
Philips HealthSuite Digital Platform（HSDP）は、一連のヘルスケアプロセスを通じて一人ひとりに合わせたヘルスケアサービスを提供します。



Health Continuum

フィリップスは、健康な生活、予防、診断、治療、ホームケアという「一連のヘルスケアプロセス（Health Continuum）」を通じて世界中で培った技術や知見を生かし、革新的なソリューションを創出し続け、人々の生活を豊かにしていきます。

Healthy Living

健康な生活

健康な食生活をサポートする調理家電や
外見を整え、より自分らしく自信を持って
生活するための理美容家電を提供し、
人々の健康な生活に貢献しています。

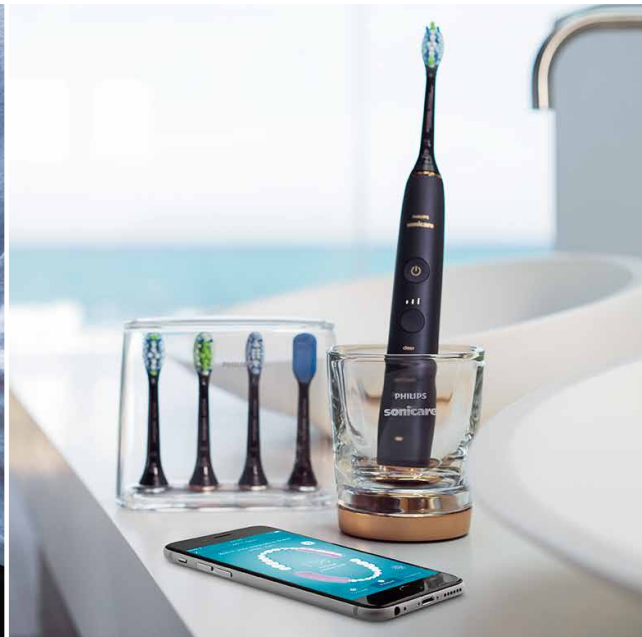
- 調理家電
- 理美容家電
- オーラルヘルスケアー

Prevention

予防

口腔環境は全身の健康に密接に関わっているとされています。口腔ケアを通して慢性疾患の予防に貢献します。
また、AEDの適正配置で万が一に備えます。

- オーラルヘルスケアー
- AED

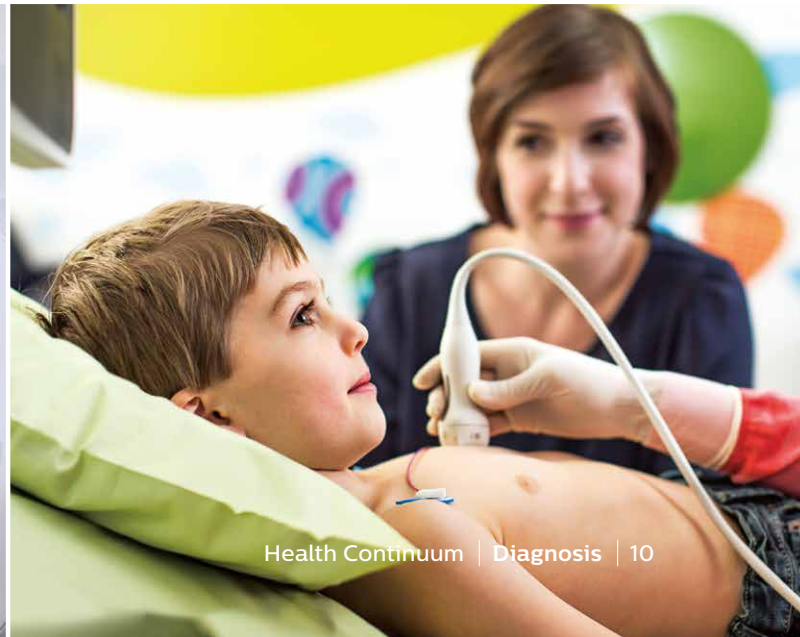


Diagnosis

診断

診断の確実性を高め、臨床とコストの両面を改善し、疾病の早期発見、早期介入に貢献します。フィリップスのイノベーションを通じて患者様に質の高い医療を提供します。

- 超電導磁気共鳴画像診断装置（MRI）
- X線CT診断装置
- 分子イメージング装置（PET）
- 一般X線撮影装置
- 乳房用X線撮影装置
- 超音波診断装置／血管内超音波診断装置（IVUS）
- 生体情報モニタ／MRI対応生体情報モニタ
- 患者情報システム
- ヘルスケア IT
- デジタル病理システム
- 睡眠呼吸障害 検査装置

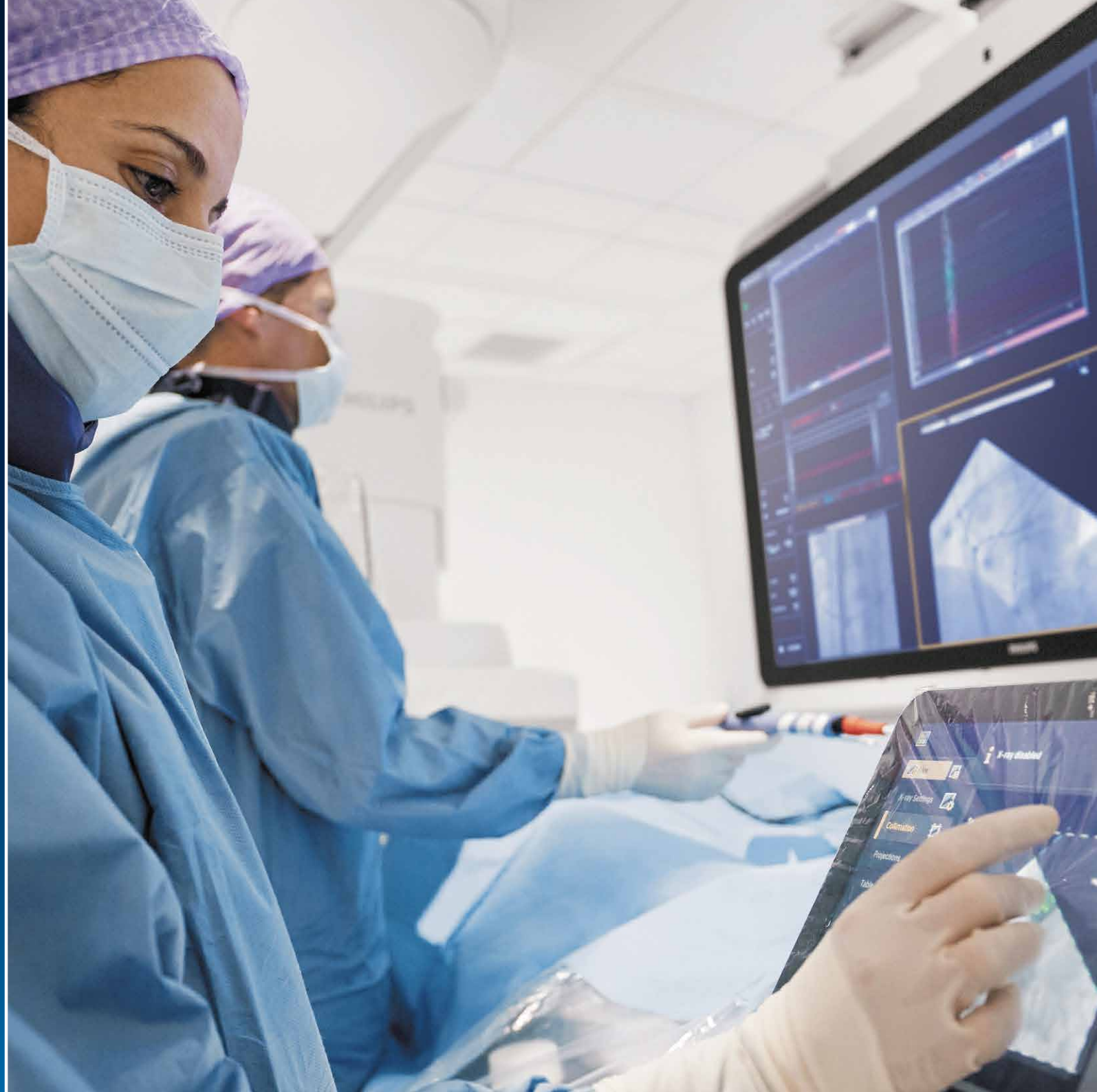


Treatment

治療

患者様だけでなく医療従事者にも配慮した装置や医療環境の提供、さらにはさまざまなソリューションにより、医療従事者のワークフローを改善します。

- 血管撮影装置
- モバイルCアームシステム
- 除細動器
- 人工呼吸器（病院）
- 放射線治療計画装置

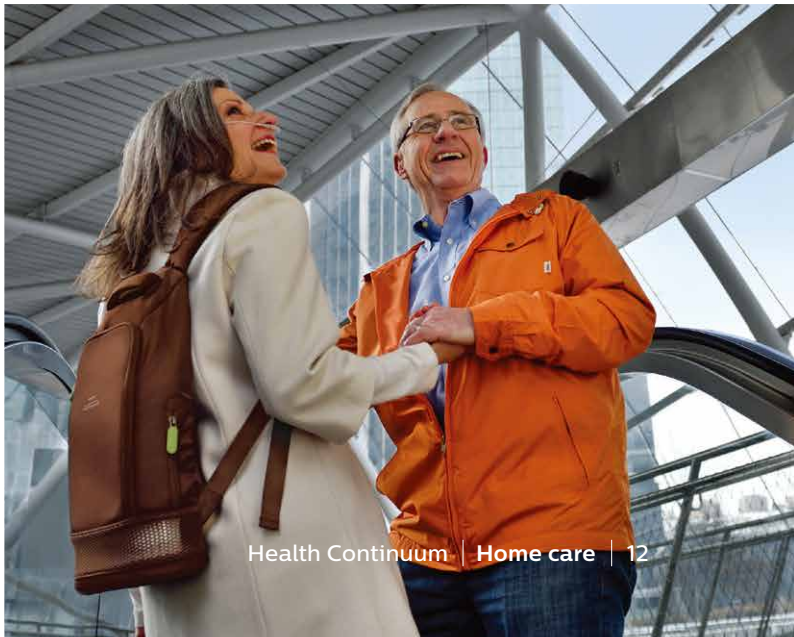


Home care

ホームケア

人工呼吸器や睡眠呼吸障害 治療装置(CPAP)などで、病院内だけではなく、人々が健康で満ち足りた生活を送るためにご家庭での長期ケアもサポートします。

- 睡眠呼吸障害 治療装置 (CPAP)
- 在宅酸素療法 (HOT)
- 在宅人工呼吸器
- 睡眠呼吸障害 検査装置
- 呼吸ケア用品 (Respiratory Care)

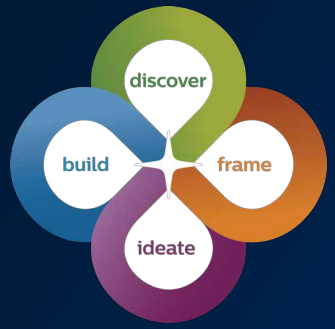


Philips Consulting

フィリップスは、健康な生活、予防、診断、治療、ホームケアという
「一連のヘルスケアプロセス」において、健康管理や医療が
必要とされる場面でさまざまなソリューションを提供してきました。
その経験をもとに、医療機関や行政のパートナーとして地域医療が
直面する複雑な課題に取り組んでいます。

皆様とともに、経営課題の解決のみならず、質の高い医療の提供、
臨床的な効率性の向上、独自性の創出などに取り組んでいく。
それらを果たすことで、患者様を中心に考える意義のある
持続可能な医療環境の変革を実現します。

Co-create methodology



Discover	トップの抱える問題意識や、現場が日々直面している業務の課題などを明確にし、意識改革を共有
Frame	業務の可視化により課題を明確にし、自らの力でイノベーションを可能にするソリューションを導く
Ideate	理想の医療を実現させるための、将来的な成長プランの策定
Build	改革意識を継続していくことで、イノベーションをリードする強い組織力を実現

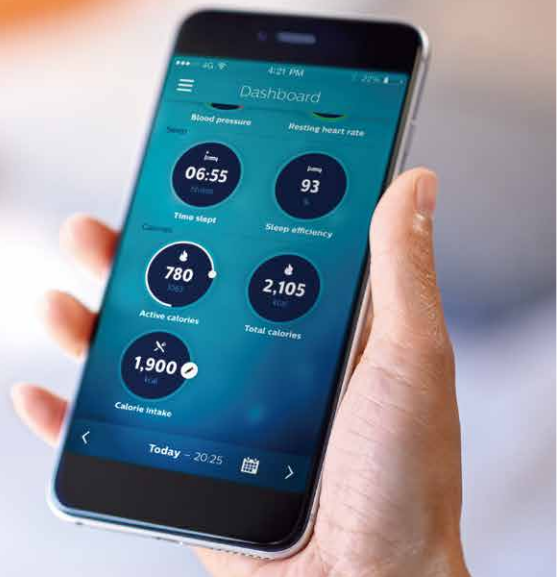
遠隔医療
ソリューション

- 遠隔集中治療患者管理プログラム
- ICTを活用した遠隔病理レポートシステム
- 睡眠時無呼吸症候群治療器
  ドリームステーション
- 呼吸装置治療支援プログラム

Philips
HealthSuite

デジタルプラットフォーム
ソリューション

一連のヘルスケアプロセスのデータを統合する
デジタルプラットフォームを構築することにより、
医療データに基づいた医療サービスを提供



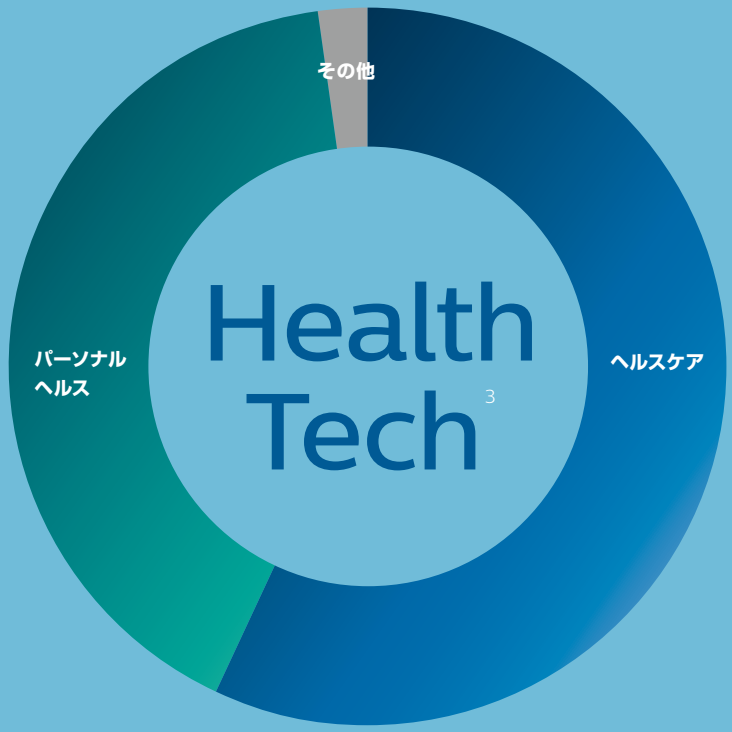
医療環境
イノベーション

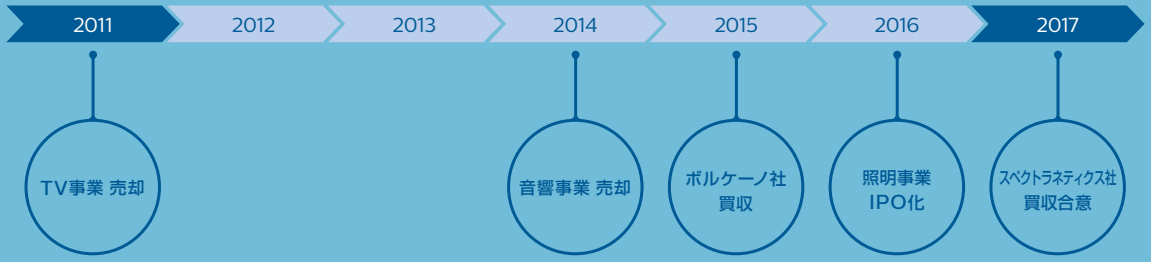
- 検査を受ける患者様のストレスを低減する照明
- 業務効率を高めるとともに患者様の安心感を
  高める環境設計デザイン
- 装置の構成・仕様・保守の最適化

ポートフォリオの変革

フィリップスは、イノベーションを提供するだけでなく、
世界的な環境の変化や人々のニーズに合わせて事業体を変化させてきました。
テレビ事業やオーディオ事業を売却し、2015年には米国ボルケーノ社を買収、
2016年には創業の照明事業をIPO化し、ヘルステック企業として生まれ変わりました。

ポートフォリオの変革

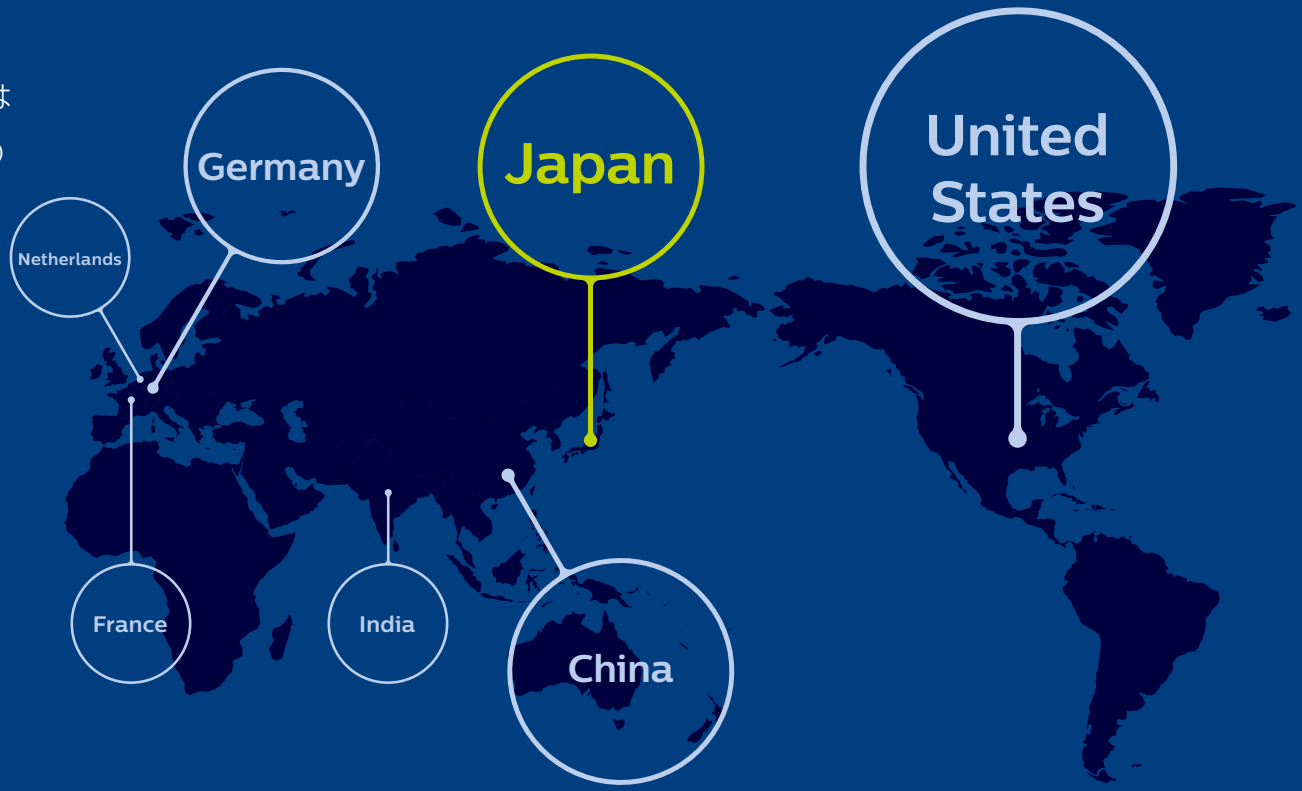




1 現在のパーソナルヘルスは、2011年当時ヘルスケア事業の一部であった呼吸・睡眠ケアを含む。
2 2011年の照明はルミレッズとオートモーティブライティングを含む。
3 照明事業除く。

日本市場への強いコミットメント

フィリップスは世界100カ国以上で事業を展開しており、
日本はその中でも重要なマーケットの一つです。
高齢化が急速に進む日本が直面する課題への取り組みは
世界からも注目されています。それらを解決し、日本での
知見を活かして世界の医療に貢献していくことも、
日本のフィリップスの役割だと考えています。



日本におけるヘルステックポートフォリオ

診断 & 治療	コネクテッドケア & ヘルスインフォマティクス	パーソナルヘルス
画像診断装置	生体情報モニタ*	男性用理美容家電*
	遠隔集中治療患者管理プログラム	オーラルヘルスケア*
超音波診断装置*	非侵襲人工呼吸器*	睡眠・呼吸ケア*
	遠隔病理レポートシステム	調理家電
血管撮影装置*	医用画像レポートシステム	美容家電

* **Global Leader**
Leadership position refers to #1 or #2 position in Philips addressable market
Source: GfK, Nielsen, Euromonitor, Frost and Sullivan,Home Healthcare TBS and PCMS market insight as of 2017

会社概要

株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
資本金：30億円
代表取締役社長：堤 浩幸

フィリップス・レスピロニクス合同会社

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
出資金：1億円
職務執行者社長：堤 浩幸

お問い合わせ

フィリップス家電製品 お客様窓口
対象製品：理美容家電 ／ オーラルヘルスケアー ／ 調理家電
電話番号：0120-944-859
受付時間：9:00 ～ 18:00（土・日・祝日および年末年始を除く）

フィリップス ヘルスケア（医療機器）お客様窓口
対象製品：MRI ／ X線CT診断装置 ／ 分子イメージング装置
血管撮影装置 ／ 一般X線撮影装置 ／ 乳房用X線撮影装置
超音波診断装置 ／ 生体情報モニタ ／ 患者情報システム
電話番号：0120-556-494 ／ 03-3740-3213
受付時間：9:00 ～ 18:00（土・日・祝日および年末年始を除く）

フィリップスAEDコールセンター
対象製品：AED ／ 除細動器
電話番号：0120-802-337 ／ 03-3740-3269
受付時間：9:00 ～ 18:00（土・日・祝日および年末年始を除く）

CPAP／呼吸ケア用品 専用窓口 お客様コールセンター
対象製品：CPAP装置 ／ CPAP用加温加湿器 ／ マスク
呼吸ケア用品 ／ ネブライザ ／ 吸引器
電話番号：0120-48-4159
受付時間：9:00 ～ 17:30（日・祝および年末年始を除く）

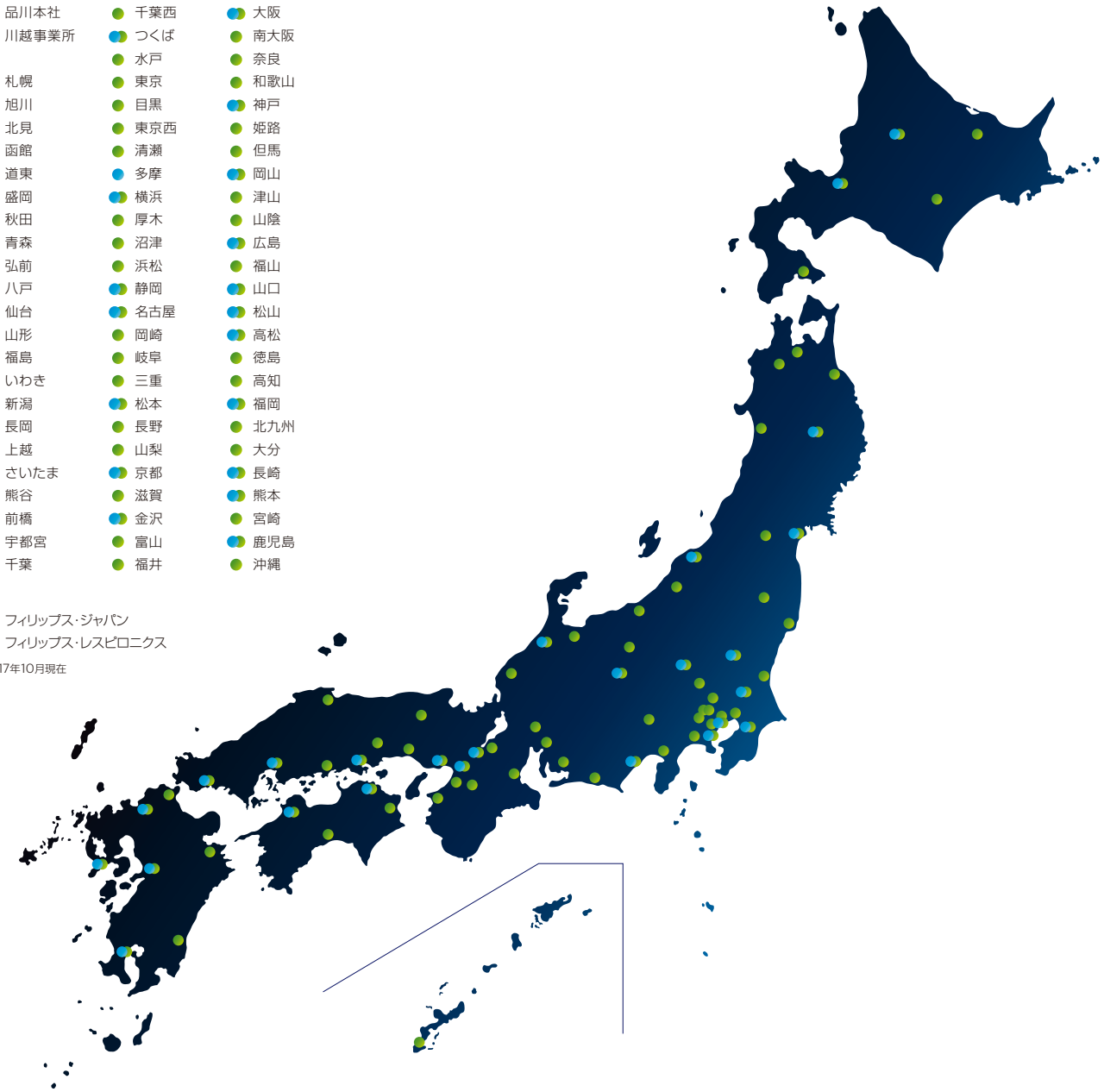
人工呼吸器 お問い合わせ窓口
対象製品：人工呼吸器（病院）／ 人工呼吸器（在宅）
ご連絡先：フィリップス・レスピロニクス各営業所　最寄の営業所までご連絡ください
受付時間：9:00 ～ 17:30
※ 平日夜間・休日は、機器安全センター（0120-633-881）にお電話ください。

公式ホームページ
www.philips.co.jp

Facebook
www.facebook.com/PhilipsJapan

拠点

- 品川本社
- 川越事業所
- 札幌
- 旭川
- 北見
- 函館
- 道東
- 盛岡
- 秋田
- 青森
- 弘前
- 八戸
- 仙台
- 山形
- 福島
- いわき
- 新潟
- 長岡
- 上越
- さいたま
- 熊谷
- 前橋
- 宇都宮
- 千葉
- 千葉西
- つくば
- 水戸
- 東京
- 目黒
- 東京西
- 清瀬
- 多摩
- 横浜
- 厚木
- 沼津
- 浜松
- 静岡
- 名古屋
- 岡崎
- 岐阜
- 三重
- 松本
- 長野
- 山梨
- 京都
- 滋賀
- 金沢
- 富山
- 福井
- 大阪
- 南大阪
- 奈良
- 和歌山
- 神戸
- 姫路
- 但馬
- 岡山
- 津山
- 山陰
- 広島
- 福山
- 山口
- 松山
- 高松
- 徳島
- 高知
- 福岡
- 北九州
- 大分
- 長崎
- 熊本
- 宮崎
- 鹿児島
- 沖縄



- フィリップス・ジャパン
- フィリップス・レスピロニクス

2017年10月現在

There is always
a way to make
life better

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。
あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「お客様窓口」まで
お問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、
Koninklijke PhilipsN.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。

© 2017 Philips Japan, Ltd.

1792269IK
1017PDF02-FK
Printed in Japan